



MONTHLY

かわせみ通信

8月号

2023年8月

Vol.168

発行所



ECOLOGY & SCIENCE 株式会社 東海テクノ 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)

TEL.059-332-5122 (代) https://www.tokai-techno.co.jp

作業環境管理の曲がり角 ～法改正による課題と企業への影響～

企業や事業所における労働者健康管理は、法律で作業環境測定により管理していましたが、今後、『測定対象項目は増やさない、そのかわり新たなルールに則って企業や事業所で自律的に管理してください』という形に変わります。「化学物質管理や事故対応の責任は事業者責任ですよ」という画期的な法律です。

新たなルールを作業場における化学物質管理に絞って説明すると、1. 法律に作業環境測定のあるものは、いままで通り対応する 2. 測定義務がないものは、リスクアセスメントを行い、良好と判断されない場合は個人ばく露測定等でより良い対応を選択、さらには保護具等を適切に使用することとなります。保護具の適正使用のためには、事業所内に保護具着用管理責任者を選任しなければなりません。

法律では、これらの実施責任者は、化学物質管理責任者等の一定の知識を持つ者を選任するとされています。上記1の作業環境測定結果については、厳しく結果対応が迫られ、第3管理区分の作業場は、外部の作業環境管理専門家へ、対処方法

を相談の上、労働基準監督署に対処方法を届け出なければなりません。さらに化学物質での労災事故等で労働基準監督署



から具体的な対応の指示があった場合は、化学物質管理専門家（外部の人が望ましい）の助言を受け対処方法を考察し実行しなければなりません。少し厳しく表現すると作業環境管理が不十分と思われる場合（第3管理区分）や、事故等の発生に対しては、事業所だけの対応だけではなく、外部の専門家の知見も加えて対処してください、という趣旨です。

2024年4月まであと半年、光陰矢の如しです。準備は進められていますでしょうか？ 遵法対応ですので早め早めの対応をお勧めします。

【4月までに準備が必要です …… 確認すべきチェックポイントです】

- ① 事業所内の化学物質取扱、作業形態等の再確認をしてください
- ② 作業環境測定が必要な作業場所の再確認をください
- ③ 安全衛生委員会で化学物質管理に関する項目が常時議題化出来ていますか
- ④ 化学物質管理責任者の選任、さらには保護具着用管理責任者の選任は出来ていますか
- ⑤ 化学物質リスクアセスメントを行っていますか
- ⑥ 化学物質リスクアセスメント結果に従って、測定、作業場の改善、保護具着用等を進めてください

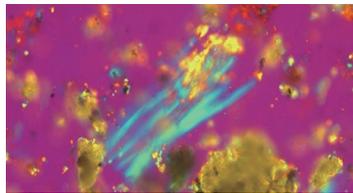
ココに技あり! エルゴノミクスマウスでPC作業軽減へ

エルゴノミクスは人間工学を指します。それに基づき設計されたマウスは、手首を自然な角度で握れるため、手首や腕への負担軽減が期待できます。当社でも試しに縦型を導入したところ、手首に腱鞘炎を患う事務職員にとっては普通のマウスがいかにか手首を捻っていたのがわかり、クリックも軽いと高評価でした。一方、分析技術員からは違和感があり使いづらいとの低評価の結果になりました。どうやら人を選ぶ機器のようですが、エルゴノミクスマウスには他にも、トラックボールやスティック型などもあり、エルゴノミクスキーボードなど人間工学に基づくデバイスも多数発売されています。継続的にパソコンを使われている方は、道具から改善という方法もありますね。



偏光顕微鏡ってどんな顕微鏡?

当社では石綿分析の際、基本的にJIS A 1481-1法を採用しているんだけど、その時に使うのが偏光顕微鏡なんだ。そもそも偏光顕微鏡って何だろう? 偏光顕微鏡は私達が小中学校で使ったものと同じく、可視光領域やその付近の波長領域の光を利用する光学顕微鏡だよ。様々な方向に振動している光源の光を、偏光板を通して特定の方向だけに振動する光(偏光)に変えて、それを試料に当てることで固有の偏光や複屈折の特性がある鉱物を観察できるんだ。置いたステージを回転させると、複屈折特性のある部分が45度ごとに暗く見えたり(消光位)明るく見えたり(対角位)するよ。石綿6種類もそれぞれ複屈折特性を持っているので、この方法で特定できるんだ。分析報告書に記載されているのが偏光顕微鏡写真だよ。ちなみに当社の技術者は毎日平均6~7時間顕微鏡観察をしていて、疲れた目にはやはりマッサージや保温が有効とのこと。星空を見上げると顕微鏡の視野に見えてくることがあるそうだよ。



プチコラム

渡部 真由 (環境事業本部 四日市分析センター 環境ラボGr)

皆様、猛暑が続く中、いかがお過ごしでしょうか。私はこの夏、花火大会を見に出かけました。写真はそのときに撮ったものです。現地はかなりの賑わいで、花火を見やすい最前列は場所取り争奪戦となるほど混み合っていました。そのため、打ち上げ場所からすこし離れた場所で見ることになりましたが、それでも迫力があり、大満足でした。ただ、帰り道の混雑を避けるため、クライマックスの花火を見ずに帰らなければならなかったのが心残りなので、来年はゆとりをもって見られれば良いと思います。



編集後記

8月に入ってからゆっくりの台風6号、そして7号のニュースが続き、やはり年々過去の経験では語れないような事象が続きますね。そんなことを思いながら甲子園でプレーする球児たちを見ていると、もう少しよい環境でやらせてあげたいと思うのは私だけでしょうか。8月も後半に突入。涼しくなってきましたほしいですね。(みっちー)

